■小学校

浜松市立浜名小学校	586-3066
浜松市立北浜小学校	586-2990
浜松市立北浜東小学校	586-3319
浜松市立中瀬小学校	588-7310
浜松市立赤佐小学校	588-7552
浜松市立麁玉小学校	589-8313
浜松市立新原小学校	589-8327
浜松市立北浜北小学校	587-8250
浜松市立内野小学校	586-4001
浜松市立北浜南小学校	586-1585
浜松市立伎倍小学校	586-8911

■協働センターなど

浜名協働センター	587-4134
麁玉協働センター	582-3011
中瀬協働センター	588-2245
北浜南部協働センター	585-0510
浜北地域活動・研修センター（赤佐市民サービスセンター）	588-2740

■警察署・交番・駐在所

浜北警察署	585-0110
小松交番	586-2214
浜北北部交番	587-4526
北浜交番	587-4525
宮口警察官駐在所	589-8706

■消防署

浜北消防署	586-0119
浜北消防署赤佐出張所	588-2296

■郵便局

浜北郵便局	586-4262

■中学校

浜松市立浜名中学校	586-2321
浜松市立北浜中学校	586-3101
浜松市立浜北北部中学校	588-7241
浜松市立麁玉中学校	589-8328
浜松市立北浜東部中学校	586-3177

■特別支援学校

静岡県立浜北特別支援学校	580-3377

■高等学校

静岡県立浜名高等学校	586-3155
静岡県立浜北西高等学校	587-1135

■主な公共施設

浜北文化センター	586-5151
市民ミュージアム浜北	586-7310
浜北図書館	586-8200
浜松市社会福祉協議会浜北地区センター	586-4499
浜北高齢者ふれあい福祉センター	587-4830
浜北保健センター	587-0739
生きがいデイサービスセンター	586-7273
発達医療総合福祉センター	586-8800
浜北総合体育館	585-1222
浜北温水プール	584-3023
浜北平口サッカー場	585-1456
浜北体育館	585-1173
明神池運動公園	582-3099
サンライフ浜北	586-1881
浜北武道館	586-0211
美薗中央公園	586-7900
万葉の森公園	586-8700
あらたまの湯	582-1126
バードピア浜北	583-0443
森の家	583-0090
ハローワーク浜北	584-2233

浜松市浜北区役所
〒434-8550 浜松市浜北区貴布祢3000番地
総合案内　TEL.053-587-3111
http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hk-shinko/ward/hamakitaku/index/html
発行　平成28年9月

市街には文化の香り、郊外には癒しと活力の風、心弾むみどりのまち――浜北

天竜川運動公園 G-7

野球、ソフトボール、サッカーなどのスポーツに利用できる多目的運動広場です。貸出施設は野球場（4面）、ソフトボール場（9面）、サッカー場、陸上競技場などです。施設の利用料は無料ですが、専用して利用する時は、許可が必要です。

明神池運動公園 C-5

野球、テニスに利用できる施設で、貸出施設は野球場（両翼91m、内野スタンド2,430席）及びテニスコート（人工芝6面）です。

天竜川中瀬緑地 G-6

公園の一角の法面を利用して、動物のしっぽをかたどったモニュメントが設置されています。20種類ほどの動物のしっぽのオブジェが並んでいて、周辺地域では「しっぽ公園」として親しまれています。

太平洋富士見平 C-3

天気の良い日は、名前のとおり遠州灘と富士山が一望でき、日の出や夜景が楽しめます。春にはソメイヨシノが辺りを彩り、花見を楽しむこともできます。

美薗中央公園 E-8

美薗中央公園は、遠州鉄道沿線にある、面積約5万㎡の大規模な総合公園です。芝生が広がる多目的広場、いろんな遊具があるわんぱく広場、水遊びのできるせせらぎ広場、バスケットコートやテニスコート（4面）があるボール広場などがあります。また、散策園路には、季節の花木が植えられ、散歩やジョギングを楽しめます。
市民の憩いの場所として、また軽運動の場として親しまれています。

染地台野鳥公園 B-9

染地台野鳥公園は、新しい住宅街のシンボル的な公園です。
カラフルな遊具、ボール投げやかけっこなどが楽しめる多目的芝生広場があります。また、自然の樹木があふれる森の中をぬけて、ビオトープや調整池への散策も楽しめます。

竜南緑地 F-9

全国的にも珍しい、回転を重点において作られた遊具が数多く設置されています。中には、止めない限り回り続ける構造の遊具もあり、他の公園とは異なる独特の遊具の珍しさから、地域では「グルグル公園」として親しまれています。

つみいしづか広場 B-8

緑に囲まれた調整池のまわりを周回できる遊歩道があり、散策しながら二本ヶ谷積石塚群（県指定史跡）を見学することができます。

平口スポーツ施設

浜北総合体育館 C-8

浜北総合体育館「グリーンアリーナ」の主な施設は、観客席（1,070席）を備えたメインアリーナ（2,006㎡）とサブアリーナ（837㎡）です。そのほかトレーニング室、軽体操室、会議室、ラウンジなどもあります。また、高齢者や車椅子利用の方々も不自由なく利用できる全館バリアフリー構造になっています。
各種スポーツ大会や市民の一般利用のほか、各種イベントなどにも利用可能な施設として市内外から多くの方々に利用されています。

浜北温水プール C-8

浜北温水プール「グリーンアクア」には25mプール（4コース）を中心に歩行者専用プール、流水プール（約32m）、すべり台や噴水のある子ども用プール、リラクゼーションプール（ジャグジー、気泡浴、うたせ滝など）があります。
高台という立地を活かして施設の南側は全面ガラス張りとなっており、開放感にあふれています。

サッカー場
スポーツ広場

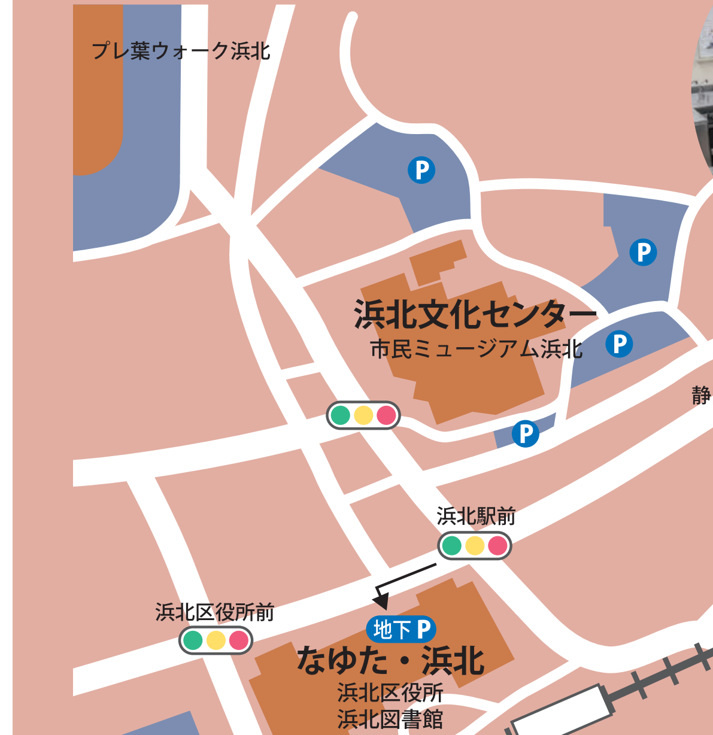
浜北平口サッカー場 C-8

浜北平口サッカー場「グリーンフィールド」には、サッカー場とスポーツ広場があります。
サッカー場は、屋根付きの観客席（1,029席）と照明設備を備えた人工芝のサッカー場（105m×68m）1面で、日本サッカー協会が規定する県大会レベルの開催基準を満たしています。また、フットサルの利用では最大6面が利用可能です。
スポーツ広場は、400mトラック（クレー4コース利用可能）に照明設備を備えています。陸上競技やサッカー、フットサル、グラウンドゴルフなど多目的に利用できます。

副都心中心部

浜北文化センター D-8

浜北文化センターは、大ホール（1,208人）、小ホール（306人）、大会議室（400人）などがあり、市内の施設の中でも収容人数が多く、交通の利便性が高いことから利用率も高くなっています。区役所の移転に伴い、新たに調理、陶芸その他の生涯学習事業などができる施設が整備されたことから、副都心における文化の拠点として期待されています。



なゆた・浜北 D-8

なゆた・浜北は、区役所など市の機関が入ることにより、浜北副都心の行政の拠点として、にぎわいの核になるなど、その装いが一新されました（平成28年10月11日）。
主な施設には、浜北区役所（6課）、東・浜北土木整備事務所、北部都市整備事務所、保健所浜北支所などの本庁直轄組織、浜北図書館、なゆたホール（406人）などがあります。他に複合施設として、民間の商業部分、住居部分があります。

浜北区
ガイド・マップ

浜松市

人をつなぎ、心をつなぐ季節のアクセント 浜北三大まつりには、四季を彩る華があります。

飛竜まつり G-6

遠州はまきた飛竜まつりは、古くから「あばれ天竜」と言われた天竜川の神である「竜神」にちなんだ浜北のまつりです。昭和49年(1974)に始まった浜北まつりを改称し、平成3年(1991)に「遠州はまきた飛竜まつり」となりました。
大空に舞い上がる大凧（3.2m×2.4m）は、浜北凧と呼ばれ、全国的にも珍しい横長で、「ブーンブーン」とうなり音を発しながら勢いよく舞い上がります。
夜には勇壮な「飛竜火まつり」が行われ、遠州大念仏、飛竜太鼓、手筒花火、打ち上げ花火などがまつりを盛り上げます。まつりのシンボルである全長60mの「飛竜ナイアガラ」が夜空を焦がす時、まつりは最高潮を迎えます。
会場では、天竜川流域から多くの店が集まる「水の道物産展」も催され、多くの人でにぎわいます。

万葉まつり

万葉の森公園で毎年開催され、『万葉集』とその時代の文化に親しむことができます。
水辺で歌を詠む天平貴族の宴を再現した「曲水の宴」のほか、万葉歌朗唱会や、万葉食の試食、草木染めなどの体験や各種展示などが行われます。

■万葉の森公園の花

かたかご（カタクリ）
ひめゆり（ヒメユリ）
くず（クズ）
かへるで（カエデ）
ねっこぐさ（オキナグサ）
をみなへし（オミナエシ）
ふぢばかま（フジバカマ）
うめ（ウメ）
うのはな（ウツギ）
ぬばたま（ヒオウギ）
おもひぐさ（リンドウ）
つばき（ツバキ）

万葉の森公園 C-7/8

万葉歌に詠み込まれている草花の古名から推定される約300品種が四季を通して観賞できる施設で、万葉文化に関する資料館、体験施設、休憩施設などがあります。
『万葉集』には浜北ゆかりの歌が4首あることと、植木栽培が盛んな「みどりのまち浜北」にちなみ、平成4年に開園しました。

植木まつり

毎年、春(3月)と秋(10月)に開催され、浜北営農緑花木センター内にある植木神社では神事やもち投げなどが催されます。また、とりわけ華やかな春のまつりでは、裃行列、植木オークション、苗木の無料配布など各種イベントが行われ、県内外からも多くの人たちでにぎわいます。

浜北営農緑花木センター E-7

緑花木センターは、庭園木、盆栽、観葉植物など約3,000種類30万本の花木や、ガーデニンググッズがそろっている緑のデパートです。センター内の夢花館では栽培方法などの相談もでき、年間を通して押し花や寄せ植え教室が開催されます。また、同じくセンター内の百景園（約4,000㎡）は回遊式日本庭園で、浜北特産の槇を始め松、梅、桜など多彩な庭園木と、灯籠や庭石が情緒豊かな景観美を見事に描き出しています。

県立森林公園 D/F-4

県立森林公園は、森林レクリエーション活動や自然学習の場として、天然のアカマツ林を主体とした豊かな自然に恵まれた浜松市浜北区根堅、尾野の県営林（215ha）に昭和40年に開設されました。
森林内には、温帯・暖帯・亜熱帯の特徴を示す1,000種類以上の植物やシジュウカラやマガモ、カワセミなど約100種類の野鳥が確認されています。また、チョウやトンボなどの昆虫も豊富に生息しており、これらの動植物が四季の変化を楽しませてくれます。さらに都市近郊の公園として、木の散歩道や親水広場での散策、森の家での研修・宿泊、ピクニックガーデンでのバーベキューやデイキャンプ、イベント広場での野外コンサートなど様々な分野での利用が可能となっています。
自然情報や公園の利用についてはバードピア浜北のスタッフにお問い合わせください。

バードピア浜北 D-4

バードピア浜北は、県立森林公園のほぼ中央に位置する「自然とのふれあい」をテーマにした施設です。
施設内には森林公園の地形を再現したジオラマや公園内の動植物を紹介するコーナー、鳥の鳴声や森の香りを体験できるコーナーなどがあり、森林公園の四季折々の自然を紹介しています。
観察テラスからは、望遠鏡で森林公園の野鳥を観察することもできます。

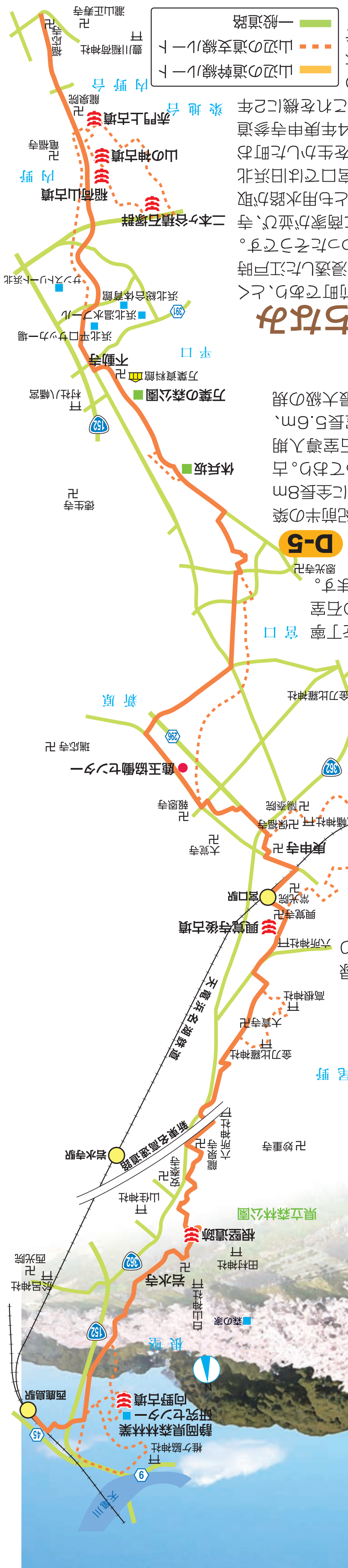
森の家 E-4

森の家は、企業、グループでのスポーツや研修、また、ご家族連れでの宿泊やお食事など、様々な用途に合わせて利用できる多目的施設です。
やまびこホール(432㎡)は研修会や各種催事の利用のほか、バレーボールやバドミントンなどの設備も備えています。
木材をふんだんに使った内装など森林の恵みを満喫できる施設です。

あらたまの湯 C-5

あらたまの湯は、「石庭の湯」と「森林の湯」の2つの温泉施設を備えた日帰り天然温泉施設です。黒と石がテーマの「石庭の湯」は、上質な大人の雰囲気の露天風呂。目の前に広がる美しい石庭が、周りの樹々を借景にして、落ち着いた空間を創り出しています。白と木がテーマの「森林の湯」は源泉掛け流しの湯。樹々の間に広がる山々の稜線が、季節、時間、天気によって表情を変えていく美しい自然が満喫できます。そのほか、貸切風呂、リラクゼーションスペース、売店、お食事処、屋外には物産店、足湯、温泉スタンドもあります。

遠州山辺の道



先人たちの思いが 悠久の時を超えて語りかけてくれます。

浜北区内の三方原台地東縁から浜北北部丘陵南麓には、緑や水などの豊かな自然環境と、古くからの道筋が残っておりその沿線には多くの史跡や寺社などが存在しています。
「遠州山辺の道」とは、この地域の古い道筋を歩きながら、歴史、文化、自然に親しめるように設定された散策ルートであり、その名も奈良県の古道である「山辺の道」にちなんで、名付けられたものです。

向野古墳 E-4

7世紀後半の築造と推定されています。主体部は横穴式石室で玄室のみ残存していますが羨道部もあったものと考えられ、玄室・玄室長5.5m、幅1.6m。大型の割石を丁寧に積んでおり、浜松市内の他の石室とは一線を画す造りになっています。

興覚寺後古墳 D-5

左が前方部、右が後円部。6世紀前半の築造と推定されています。南向きに全長8mの横穴式石室が開口部になっており。古い形式で遠江地域の横穴式石室導入期のものと考えられ、玄室。玄室長5.6m、玄室幅2.5m。遠江地域では最大級の規模を誇っています。

宮口のまちなみ D-5

宮口は庚申寺の門前町であり、とくに庚申信仰が庶民に浸透した江戸時代には参詣者で賑わったそうです。
当時は参道の両側に商家が並び、寺院境内から参道もろとも用水路が取り囲んでいました。宮口では旧浜北市時代から、町並みを生かした町おこしが行われ、1994年庚申寺参道が石畳に舗装され、これを機に2年後「宮口町おこしの会」が発足し、様々な企画を打ち出してきました。

根堅遺跡 E-4

石灰岩の採石現場から発見された洞窟遺跡で、14,000年前と18,000年前の地層から、本州では唯一の旧石器時代の人骨“浜北人”や、トラなどの獣骨が出土しています。現在、洞窟は残っていませんが、発見場所を示す標柱や説明パネルが建っています。
浜北人の骨は東京大学に保管されていますが、複製品が市民ミュージアム浜北に展示されています。

庚申寺 D-6

神亀2年(725)開創の伝承をもち、明徳元年(1390)に臨済宗寺院として現在地に移転したとされる古刹です。遠江の庚申信仰の中心として栄え、五穀豊穣を祈る付近の農民の信仰も集めていました。庚申堂や山門などの建物は江戸時代に建てられ、門前には往時をしのばせる町並みが残されています。
江戸時代の元禄6年(1693)、尾野村の人々が雨乞いのために庚申寺へ寄進した高さ155cm、幅179cmの大きな二十四孝図絵馬（市指定有形文化財）があります。

不動寺 C-8

延宝8年(1680)に黄檗宗寺院となりましたが、創建はそれより古いと伝わっています。中国風の竜宮門をくぐると、本堂へ続く123段の石段の途中には松尾芭蕉や松島十湖などの35基の句碑が立ち並んでいます。春にはミヤマツツジや桜が色鮮やかに咲き誇り、参拝だけでなく、隣接する万葉の森公園と併せて散策コースとしても親しまれています。

岩水寺 E-4

行基創建とも伝わる真言宗の古刹で、安産、子育ての信仰を集めており、戌の日や2月第3日曜日の「星まつり」には多くの参詣者でにぎわいます。
木造地蔵菩薩立像（国指定重要文化財）は鎌倉時代中期の寄木造りで、ほぼ等身大の裸形像です。布の衣をまとい、上体を前傾させて左足を半歩前に出している点や、わずかに開いた唇から水晶でできた歯が見える点などが非常に特徴的です。秘仏のため普段は公開されていませんが、星まつりなどに開帳されることがあります。

赤門上古墳（県指定史跡） B-9

4世紀後半に築かれた全長56.3m、高さ4.9mの前方後円墳です。割竹形木棺の跡から三角縁神獣鏡、鉄剣、銅鏃、鉄斧、管玉などが出土しています。
三角縁神獣鏡は、国内の有力な古墳でしか出土しない鏡であり、浜松市内では唯一の出土例です。
西遠地方最大級の墳丘規模と、優れた副葬品などから、天竜川西岸一帯を支配していた有力者の墓と考えられています。
出土遺物（県指定有形文化財）は市民ミュージアム浜北で展示されています。

木喰仏（徳泉寺） C-2

木造十王坐像・木造葬頭河婆半跏像（市指定有形文化財）は、総称して木喰仏と呼ばれるものです。これら11体の仏像は江戸時代の遊行僧木喰五行上人が、全国を回る途中に当地に立ち寄ったときに彫ったもので、素朴で温かみのある作風が特徴の一木造の像です。
十王とは閻魔大王をはじめとする冥界の裁判官で葬頭河婆は三途の川渡しで死者の衣類を剥ぐという老婆です。徳泉寺の境内の保存施設に安置されており、自由に見学できます。

上島新田組秋葉山常夜燈鞘堂 G-4

秋葉街道沿いにあたる浜北地域では、昔から秋葉信仰が盛んで、各町などで建てた常夜燈や、常夜燈鞘堂（当地周辺では「龍燈」と呼ばれている。）が、今も数多く残されています。上島新田組の龍燈（市指定有形文化財）は、明治28年(1895)ごろに建てられたもので、欄間の繊細な彫刻や、豪華な入母屋造の屋根が特徴です。

花の舞酒造 D-6

元治元年(1864)創業の酒造所。地元栽培の酒米「山田錦」と、赤石山系から湧き出る清冽な地下水を用い酒造りをしています。

市民ミュージアム浜北 D-8

区内で発掘された出土品や古文書などの歴史資料をはじめ、遠州大念仏や遠州織物、全国各地の郷土玩具なども紹介しています。機織や当地の郷土玩具「浜北の凧車」を作る体験コーナーもあります。

遠州大念仏

遠州地方で広く行われており、特に浜北で盛んな盆行事で、市の無形民俗文化財に指定されています。三方ヶ原の戦いで亡くなった武田軍の亡霊を鎮めるために、徳川家康の命により始められたとも言われていますが、現在は初盆供養のために行われています。毎年7月に初盆の家を念仏団が回り、庭先で鉦や太鼓を打ち鳴らして念仏を歌い踊ります。